

いざという時のために

五年生の三学期、学校から、堺市の広報に載せる作文に応募しました。いくつかのテーマが提案されていて、私はずっと前から気になっていた「避難所生活」について書くことにしました。その時、ちょうど阪神淡路大震災から三十年の年で、当時を振り返る特別番組が多く放送されていたからです。

テレビで見る避難所は、学校の体育館などで、大勢の人と一緒に過ごしています。私はいつも思うのは、「避難所で過ごさないといけなくなったとき姉は大丈夫かな」という事です。

私の姉は、支援学校に通う中学生です。言葉が話せないけれど、よく笑って賑やかで、周りを楽しませてくれる優しい姉です。けれど、静かにすることが苦手で、夜も遅くまで眠れないことが多く、周りが寝静まってもずっと一人で大きな声で笑っていることが多いです。家族のみんなは、姉のことをよく分かっていて誰も文句を言う人はいません。でも避難所では、迷惑がかかると思います。いろんな状況の人がいて、みんな疲れているからです。

災害があったとき、姉のような人は、どうやって過ごしていたのかなと、とても気になります。そして姉のように、大勢の人と過ごすことが苦手な人もいると思います。

私は、周りの人たちから、怒られることもなく優しく見守ってもらえると嬉しいけれど、そんな人ばかりではないだろうなとも思います。難解トラフ地震の話テレビでしていたり、学校で災害の勉強をするといつも考えます。

いざという時、どうすればいいのかなと考えて、私は、毎晩寝るときに、いつまで経っても眠れなくて、ゲラゲラ大きな声で笑っている姉に「シー！！」を教えています。姉は指で「シー！！」のまねをしてくれるけど、全然静かに出来ません。もう少しがんばって練習しようかと思っています。姉は大きい声で怒られるのが苦手なので、知らない人に怒られるとかわいそうだからです。